

## 2011年度第3四半期（2011年7月～9月）連結決算短信

会社名	アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所属部	東証市場第一部
決算期	本決算：年1回（12月） 中間決算：四半期毎
問い合わせ先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-3288-7000） 弁護士 門田 正行

1. 本国における決算発表日： 2011年10月26日（水曜日）

## 2. 業績

	第3四半期（7月～9月の3ヶ月間）			累計額（1月～9月の9ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益	百万ドル 5,987	百万ドル 5,394	% 11.0	百万ドル 16,192	百万ドル 15,438	% 4.9
税引前純利益	百万ドル 1,105	百万ドル 1,055	% 4.8	百万ドル 2,158	百万ドル 2,918	% -26.0
純利益	百万ドル 744	百万ドル 690	% 7.9	百万ドル 1,418	百万ドル 1,907	% -25.6
1株当たり純利益 （基本）	ドル 1.60	ドル 1.47	% 8.8	ドル 3.04	ドル 4.07	% -25.3
1株当たり純利益 （希薄化後）	ドル 1.59	ドル 1.46	% 8.9	ドル 3.02	ドル 4.03	% -25.1

配当金の推移		
	当年度（2011年度）	前年度（2010年度）
第1四半期	0.30 ドル	0.28 ドル
第2四半期	0.30	0.28
第3四半期	0.30	0.28
第4四半期		0.28
合計	0.90 ドル	1.12 ドル

（注）原則として各四半期に決定された配当金である。

## 3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラックインコーポレーテッド  
株式銘コード:8686  
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート部  
村上 一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は 2011 年度第 3 四半期の業績を発表

2011 年度第 4 四半期現金配当の増配を発表

2011 年及び 2012 年度 1 株当たり事業利益目標を確認

ジョージア州、コロンバス - 2011 年 10 月 26 日

Aflac Incorporated(以下、「当社」) は本日、2011 年度第 3 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円高ドル安の恩恵を受け、前年同期の 54 億ドルから 11.0%増加し、60 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 6 億 9,000 万ドル(希薄化後1株当たり 1.46 ドル)から 7 億 4,400 万ドル(希薄化後1株当たり 1.59 ドル)となりました。

前年同期の当期純利益には、税引前資産運用実現益 900 万ドル(税引後 600 万ドル、希薄化後 1 株当たり 0.01 ドル)が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、税引前資産運用実現損 8,300 万ドル(税引後 3,400 万ドル、希薄化後 1 株当たり 0.07 ドル)が含まれていました。ポルトガルの金融機関への投資で最後まで保有していたエスピリト・サント銀行と Caixa Geral De Depositos、米国国債の一部及びスワップ計画の一部となっていた数銘柄の日本国債の売却を含む有価証券取引の結果、税引前資産運用実現益 3 億 700 万ドル(税引後 2 億ドル、希薄化後 1 株当たり 0.43 ドル)を計上しました。また、デクシア、BAWAG キャピタル・ファイナンス・ジャージー及び Hypo Vorarlberg キャピタル・ファイナンスを含む一部の債券及び永久証券に対して減損を

行ったことにより、税引前資産運用実現損 1 億 6,600 万ドル(税引後 1 億 800 万ドル、希薄化後 1 株当たり 0.23 ドル)を計上しました。資産運用実現損には、外国為替及び受動的なデリバティブ活動に関連する税引前資産運用実現損 2 億 2,400 万ドル(税引後 1 億 4,500 万ドル、希薄化後 1 株当たり 0.31 ドル)が含まれていました。

当社は、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他の非経常的損益を除外した、当社事業から得られる利益です。基本的に受動的である当社のデリバティブ活動には、連結変動持分事業体における通貨スワップ、金利スワップ及びクレジット・デフォルト・スワップと、デリバティブが組み込まれた有価証券が含まれます。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびに非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響し、当社保険事業の実態や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたって事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたって、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、限られた取引を除いて、実際の取引で円をドルに両替することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は財務諸表作成の目的にのみ利用するもので、当社や株主の皆様に対して実際に経済的な意味を持つものではないと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外すべきであると考えています。本リリースの最後に為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の業績数値の比較表を掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の事業利益は前年同期の 6 億 8,400 万ドルから 7 億 7,800 万ドルとなりました。希薄化後 1 株当たり事業利益は前年同期の 1.45 ドルから 14.5% 増加し、1.66 ドルとなりました。為替レートが円高ドル安に推移したことで、当四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は 0.09 ドル押し上げられました。円高の影響を除いた 1 株当たり事業利益は 8.3% の増加となっています。

年初来の9ヶ月間の業績も、円高ドル安の恩恵を受けました。収益合計は前年同期の154億ドルから4.9%増加し162億ドルとなりました。当期純利益は前年同期の19億ドルから14億ドルに、希薄化後1株当たり当期純利益は4.03ドルから3.02ドルとなりました。一方、年初来の9ヶ月間の事業利益は前年同期の20億ドルから23億ドルに、希薄化後1株当たり事業利益は前年同期の4.21ドルから4.86ドルとなりました。円高ドル安による希薄化後1株当たりのプラスの影響0.31ドルを除くと、年初来の9ヶ月間の希薄化後1株当たり事業利益は8.1%増加しました。

円高ドル安の恩恵を反映して、運用資産及び現金・預金合計は、2011年6月30日現在が930億ドルであったのに対して、2011年9月30日現在では1,008億ドルとなりました。

当四半期、当社は100万株の自己株式を取得し、本年度取得した自己株式の合計は510万株となりました。2011年9月30日現在、当社の自己株式取得承認枠は、2,530万株となっています。

株主持分は、2011年6月30日現在が120億ドルであったのに対し、2011年9月30日現在では127億ドルでした。株主持分に含まれている運用資産及びデリバティブに係る未実現利益(ネット)は、2011年6月30日現在が7億5,800万ドルであったのに対し、2011年9月30日現在では7億800万ドルでした。1株当たり株主持分は、2011年6月30日現在が25.65ドルであったのに対し、2011年9月30日現在は27.25ドルでした。当四半期の平均株主持分に対する利益率は年換算で24.1%でした。事業ベース(資産運用実現損、デリバティブ損益による当期純利益への影響、株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブの未実現損益を除く)で見ると、当四半期の平均株主持分に対する利益率は年換算で26.8%でした。

当社は、2012年1月1日付で保険契約の獲得及び更新に関する費用(繰延新契約費)の会計処理に関するガイダンスを修正した会計基準ASU2010-26(旧 EITF 09-G)を採用します。この修正された会計基準は、実務において繰延新契約費に相当する費用の認識に多様性があることに対処するものです。この新基準を遡及適用した場合、2010年12月31日の為替レートをを用いて計算すると、2010年12月31日現在の利益剰余金に対する税引後累計影響額(利益剰余金の減少額)は、5億ドルから7億ドル(株主持分の4.5%から6.3%)の間になると予測しています。当社は現在、この新基準の適用によって、2011年、2012年及び遡及適用の影響を受ける全ての過年

度の純利益は減少するものの、大きな減少にはならないと判断しています。この新会計基準は、法定会計には適用されず、また、当社のリスクベース自己資本あるいは親会社の流動性ポジションに影響を与えることもありません。

## 日本社

円ベースで見ると、当四半期の日本社の収益合計は 4.8%、保険料収入は 5.4%、投資収益(ネット)は、0.9%増加しました。日本社は、当四半期の投資収益のおよそ 34%をドル建てで受け取っていたため、円高ドル安の影響で円ベースでの投資収益の成長は抑えられました。当四半期の税引前事業利益率は前年同期とほぼ変わらず 21.7%、円ベースでの税引前事業利益は 7.5%の増加となりました。一方、年初来の 9 ヶ月間の円ベースでの保険料収入は 5.1%増加し、投資収益(ネット)は 1.6%減少しました。円ベースの収益合計は 4.1%、税引前事業利益は 6.5%それぞれ増加しました。

当四半期の平均円/ドル為替レートは、前年同期が 1 ドル=85.74 円であったのに対し、10.2%円高ドル安の 1ドル=77.78 円でした。一方、年初来の 9 ヶ月間の平均円/ドル為替レートは、前年同期が 1ドル=89.33 円であったのに対し、11.0%円高ドル安の 1ドル=80.48 円でした。当四半期及び年初来の 9 ヶ月間の日本社のドルベースでの成長率は、平均為替レートが前年同期に比べ円高ドル安であったため、それぞれ押し上げられました。

ドルベースで見ると、円高ドル安を反映して、当四半期の保険料収入は 16.3%増加し、40 億ドルとなりました。投資収益(ネット)は 11.3%増加し、6 億 9,500 万ドルとなりました。収益合計は 15.5%増加し、47 億ドルに、税引前事業利益は 18.5%増加し、10 億ドルとなりました。年初来の 9 ヶ月間では、保険料収入は 16.7%増加して 115 億ドルに、投資収益(ネット)は 9.4%増加して 20 億ドルとなりました。収益合計は 15.5%増の 135 億ドルに、税引前事業利益は 18.2%増の 29 億ドルとなりました。

日本社は、当四半期も予想を上回る販売実績を挙げました。新契約年換算保険料は、22.2%増の 423 億円(5 億 4,400 万ドル)となりました。金融機関窓販は引き続き非常に好調で、当四半期の新契約年換算保険料は、前年同期比 146.6%増の 145 億円となりました。ユニークなハイブリ

ッド型終身保険「WAYS」の販売は、前年同期に比べて 362.8%増加しています。予想どおり、特に金融機関窓販で人気の高い「WAYS」の販売に大きく注力したことで、学資保険の販売に影響が出ました。当四半期の学資保険の販売は、前年同期比 8.0%減少しています。また、2011 年 3 月にかん保険の新商品「Days」が発売されたことを受け、当四半期のかん保険の販売は前年同期比 8.5%増加しました。

年初来の 9 ヶ月間の新契約年換算保険料は 13.9%増加して 1,125 億円(14 億ドル)となりました。

## 米国社

当四半期の米国社の収益合計は 4.0%増の 13 億ドルとなりました。保険料収入は 3.7%増加し、12 億ドルに、投資収益(ネット)は 7.1%増加して 1 億 4,700 万ドルとなりました。一方、税引前事業利益は 3.8%減の 2 億 2,000 万ドルとなりました。年初来の 9 ヶ月間では、収益合計は 3.7%増の 40 億ドル、保険料収入は 3.2%増の 35 億ドルとなりました。投資収益(ネット)は 8.5%増加し、4 億 3,900 万ドルに、税引前事業利益は前年同期比 2.7%増加し、7 億 1,900 万ドルとなりました。

ターゲットを絞った商品及び募集人採用に関する施策が引き続き定着し、米国社の販売は 3 四半期連続して好調でした。当四半期の新契約年換算保険料は、5.0%増加し、3 億 4,000 万ドルとなりました。募集人の採用は、ターゲットを絞った全国展開の広告宣伝キャンペーンが功を奏し、募集人採用数は 当四半期で 10.4%、年初来の 9 ヶ月間で 11.4%それぞれ増加しました。年初来の 9 ヶ月間の新契約年換算保険料は 5.7%増の 10 億ドルでした。

## 現金配当

取締役会は、第 4 四半期の現金配当を発表しました。第 4 四半期の現金配当は 1 株当たり 0.33 ドルで、2011 年 11 月 16 日市場終了時点の登録株主に対し、2011 年 12 月 1 日に支払われます。これで、第 4 四半期の現金配当は、10.0%増加することになります。

## 今後の見通し

当四半期の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。「私たちは、2011年第3四半期の全体的な業績に満足しています。主として金融機関及び日本の生活者などに訴求している「WAYS」などの適切な商品の開発力によって、日本社の販売は私たちの予想を大きく上回りました。私たちは、特に過去2年間の販売成長が極めて好調であり、また、2011年には日本史上最も壊滅的な自然災害に見舞われたにもかかわらず、日本社が素晴らしい実績を残したことを誇りに思います。一方で、2011年に目覚ましい販売実績を残したことは、2012年と2011年の販売比較を困難なものにすることになります。」

「私たちはまた、長引く米国経済の低迷にもかかわらず、米国社が引き続き堅調な販売実績を挙げたことも、喜ばしく思っています。従来以上に密接に連携した販売部門とマーケティング部門の戦略的な協調関係が、引き続き米国社の販売実績に貢献しています。商品面では、販売は、商品ラインに団体保険商品を追加したことと、戦略的かつ組織的な販売及びマーケティング努力から大きな恩恵を受けています。販売網の面では、米国社は引き続き募集人の採用数を大幅に増加させていますが、これは、当社の販売に携わることがビジネスチャンスになるということを伝える、ターゲットを絞った広告宣伝活動が功を奏したものと確信しています。日米両国でプラスの実績を残したことで、連結ベースの財務業績も非常に堅調でした。」

「過去数年にわたってお伝えしているとおり、強力なリスクベース自己資本比率(RBC比率)を維持することが当社の最優先事項であることに変わりはありません。法定会計基準に基づく四半期財務諸表はまだ完成していませんが、2011年9月30日現在のリスクベース自己資本比率は500%から540%の間に収まると予想しています。当社の強固な資本基盤によって、私たちは29年間連続して現金配当を増配し続けることができました。私は、取締役会が第4四半期の配当金を10.0%増加させるという決定をしたことを非常に喜ばしく思っています。当社の目標は、1株当たりの利益成長に沿った、あるいはそれを若干上回るペースで配当を増加させていくことです。」

「3四半期が終了し、私たちは引き続き今年も堅調な財務業績が残せるポジションにいると確信しています。この間、日本社、米国社ともに経費管理を含む事業運営を順調に行ってきました。以前にも述べたとおり、当社は、下半期に経費の増加を見込んでおり、特に第4四半期にはマーケティング、ITの施策に対する費用の増加を見込んでいました。第4四半期により多くの支出が見込

まれているにもかかわらず、私には、為替変動の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益を対前年比8%増加させるという当社の2011年の目標を達成する自信があります。本年度最後の3ヶ月間の平均円/ドル為替レートが1ドル=75円から80円で推移した場合、第4四半期の希薄化後1株当たり事業利益は1.45ドルから1.52ドルの間になると予想しています。また、同様の仮定を用いた場合、年間の希薄化後1株当たり事業利益は6.30ドルー6.37ドルの間になると予想しています。」

「今後を展望し、私は、2012年の為替変動の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益の成長目標が、対前年比2%から5%増であるということをお知らせしたいと思います。また、主体的な投資リスクの低減プログラムの効果と日米両国における低金利の影響が当社の財務業績に完全に組み込まれれば、利益成長率は上昇すると確信しています。」

#### アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に現金を迅速にお支払いします。過去55年以上、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国においては更新保障付保険販売におけるNo.1の会社で、日本においては個人保険の保有契約件数で第1位の生命保険会社です。世界で5,000万人以上の方が当社の保険に加入しています。『Ethisphere』誌は5年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」に、また、『フォーブス』誌は、当社を保険業界における「米国で最も良い経営が行われている会社」に選出しています。2011年、『フォーチュン』誌は当社を13年連続で「全米で最も働きがいのある企業100社」に選出するとともに、10回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」にも選出しています。Aflac Incorporatedはフォーチュン500社に入っており、ティッカーシンボルAFLとしてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社に関するさらに詳しい情報は [aflac.com](http://aflac.com) 及び [aflacenespanol.com](http://aflacenespanol.com) をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料(FAB Supplement)、金融セクターに対する全運用資産の一覧表及び永久証券及びユーロ圏周辺国の有価証券におけるソブリン債及び金融機関債への投資の一覧表は、[aflac.com](http://aflac.com)「Investors」ページから入手可能です。



当社は当四半期業績報告の電話会議の様様を2011年10月27日木曜日午前9時00分(米国東部夏時間)に [afac.com](http://afac.com) 「Investors」ページ上で公開します。

## Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

### 9月30日に終了した3ヶ月間:

	2011年	2010年	増減率
収益合計	5,987	5,394	11.0%
保険金給付金	3,517	3,102	13.4%
新契約費及び事業費合計	1,365	1,237	10.3%
税引前当期純利益	1,105	1,055	4.8%
法人税等	361	365	
当期純利益	744	690	7.9%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.60	1.47	8.8%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.59	1.46	8.9%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	465,910	469,868	-0.8%
希薄化後	467,793	473,569	-1.2%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.30	0.28	7.1%

### 9月30日に終了した9ヶ月間:

	2011年	2010年	増減率
収益合計	16,192	15,438	4.9%
保険金給付金	10,049	8,843	13.6%
新契約費及び事業費合計	3,985	3,677	8.4%
税引前当期純利益	2,158	2,918	-26.0%
法人税等	740	1,011	
当期純利益	1,418	1,907	-25.6%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.04	4.07	-25.3%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.02	4.03	-25.1%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	466,843	468,880	-0.4%
希薄化後	469,919	472,859	-0.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.90	0.84	7.1%

## Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

### 9月30日現在:

	2011年	2010年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	100,808	85,585	17.8%
繰延新契約費	10,575	9,418	12.3%
その他の資産	3,337	2,840	17.5%
資産合計	114,720	97,843	17.2%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	92,992	78,913	17.8%
社債等	3,301	3,008	9.7%
その他の負債	5,713	4,789	19.3%
株主持分	12,714	11,133	14.2%
負債および株主持分合計	114,720	97,843	17.2%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	466,639	471,044	-0.9%

## 事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

### 9月30日に終了した3ヶ月間:

	2011年	2010年	増減率
事業利益	778	684	13.7%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	112	-3	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	-146	9	
当期純利益	744	690	7.9%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.66	1.45	14.5%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.24	-0.01	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.31	0.02	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.59	1.46	8.9%

### 9月30日に終了した9ヶ月間:

	2011年	2010年	増減率
事業利益	2,282	1,990	14.7%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-682	-37	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	-182	-46	
当期純利益	1,418	1,907	-25.6%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	4.86	4.21	15.4%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-1.45	-0.08	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.39	-0.10	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.02	4.03	-25.1%

**為替変動の業績への影響<sup>1</sup>**  
 (主要項目の前年同期比増減率—無監査)

**2011年9月30日に終了した3ヶ月間:**

	<b>為替変動の 影響を含む</b>	<b>為替変動の 影響を除く<sup>2</sup></b>
保険料収入	13.1%	5.1%
投資収益(ネット)	10.1%	4.6%
保険金給付金および事業費合計	12.5%	4.7%
事業利益	13.7%	7.2%
希薄化後1株当たり事業利益	14.5%	8.3%

<sup>1</sup>数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

<sup>2</sup>為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

**2011年9月30日に終了した9ヶ月間:**

	<b>為替変動の 影響を含む</b>	<b>為替変動の 影響を除く<sup>2</sup></b>
保険料収入	13.2%	4.7%
投資収益(ネット)	9.2%	3.3%
保険金給付金および事業費合計	12.1%	3.9%
事業利益	14.7%	7.4%
希薄化後1株当たり事業利益	15.4%	8.1%

<sup>1</sup>数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

<sup>2</sup>為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

## 2011年1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2010年増加率</u>	<u>為替の影響</u>
75	\$6.61	19.5 %	\$ 0.64
80	\$6.34	14.6 %	\$ 0.37
85	\$6.09	10.1 %	\$ 0.12
87.69*	\$5.97	8.0 %	\$ -
90	\$5.87	6.1 %	\$ -0.10
95	\$5.68	2.7 %	\$ -0.29

\*実際の2010年の年間加重平均為替レート

## 予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供しよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・世界資本市場及び経済の困難な状況一般
- ・金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・当社の一部投資先の債務不履行及び格付けの引き下げ
- ・金融機関の減損
- ・当社保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・運用資産の評価に適用される判断
- ・運用資産に係る減損金額の主観的な決定
- ・未実現損失の実現
- ・当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・特定のセクター又は発行体に対する運用資産の集中
- ・日本に対する事業の集中
- ・保険業界における継続的な変化
- ・重要な金融及び資本市場リスクに対するエクスポージャー
- ・為替相場の変動
- ・運用利回りの大幅な変動
- ・保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定及び実績の乖離

- ・ 子会社が当社に配当金を支払う能力
- ・ 法律及び政府当局による規制の変化
- ・ 優秀な募集人及び社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 情報システムの改善・開発を継続する能力
- ・ 米国及び（又は）日本の会計基準の変更
- ・ 当社の財務力及び発行体格付けの引き下げ
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 竜巻、ハリケーン、地震、津波及び放射能に関する災害などを含む大惨事
- ・ 内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続の失敗





FOR IMMEDIATE RELEASE

AFLAC INCORPORATED ANNOUNCES THIRD QUARTER RESULTS,  
INCREASES QUARTERLY CASH DIVIDEND,  
AFFIRMS 2011 AND 2012 OPERATING EPS TARGETS

COLUMBUS, Georgia – October 26, 2011 – Aflac Incorporated today reported its third quarter results.

Reflecting the benefit from a stronger yen/dollar exchange rate, revenues rose 11.0% to \$6.0 billion in the third quarter of 2011, compared with \$5.4 billion in the third quarter of 2010. Net earnings were \$744 million, or \$1.59 per diluted share, compared with \$690 million, or \$1.46 per share, a year ago.

Net earnings in the third quarter of 2011 included pretax realized investment losses of \$83 million (\$34 million after-tax, or \$.07 per diluted share), compared with pretax gains of \$9 million (\$6 million after-tax, or \$.01 per diluted share), a year ago. Several securities transactions, including the sale of the two remaining holdings of the company's investments in Portuguese financial institutions, Banco Espirito Santo S.A. and Caixa Geral De Depositos S.A., a portion of its U.S. Treasury holdings, and various Japanese National Government bonds (JGBs) that were part of a swap program, produced a pretax gain of \$307 million (\$200 million after-tax, or \$.43 per diluted share). In addition, the company impaired certain debt and perpetual securities including Dexia, BAWAG Capital Finance Jersey, and Hypo Vorarlberg Capital Finance, resulting in a pretax loss of \$166 million (\$108 million after-tax, or \$.23 per diluted share). Realized investment losses also included a pretax loss of \$224 million (\$145 million after-tax, or \$.31 per diluted share) associated with foreign exchange and passive derivative activities.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as nonrecurring items. Aflac's derivative activities, which are primarily passive in nature, include foreign currency, interest rate and credit default swaps in variable interest entities that are consolidated, and securities with embedded derivatives. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for a limited number of transactions, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency as a financial reporting issue and not as an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

Operating earnings in the third quarter were \$778 million, compared with \$684 million in the third quarter of 2010. Operating earnings per diluted share rose 14.5% to \$1.66 in the quarter, compared with \$1.45 a year ago. The stronger yen/dollar exchange rate increased operating earnings per diluted share by \$.09 during the third quarter. Excluding the impact from the stronger yen, operating earnings per share increased 8.3%.

Results for the first nine months of 2011 also benefited from the stronger yen. Total revenues were up 4.9% to \$16.2 billion, compared with \$15.4 billion in the first nine months of 2010. Net earnings were \$1.4 billion, or \$3.02 per diluted share, compared with \$1.9 billion, or \$4.03 per share, for the first nine months of 2010. Operating earnings for the first nine months of 2011 were \$2.3 billion, or \$4.86 per diluted share, compared with \$2.0 billion, or \$4.21 per diluted share, in 2010. Excluding the benefit of \$.31 per share from the stronger yen, operating earnings per diluted share rose 8.1% for the first nine months of 2011.

Reflecting the benefit from a stronger yen/dollar exchange rate, total investments and cash at the end of September 2011 were \$100.8 billion, compared with \$93.0 billion at June 30, 2011.

In the third quarter, Aflac repurchased 1.0 million shares of its common stock, bringing the total number of shares repurchased for the year to 5.1 million. At the end of September, the company had 25.3 million shares available for purchase under its share repurchase authorization.

Shareholders' equity was \$12.7 billion at September 30, 2011, compared with \$12.0 billion at June 30, 2011. Shareholders' equity at the end of the third quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$708 million, compared with a net unrealized gain of \$758 million at the end of June 2011. Shareholders' equity per share was \$27.25 at September 30, 2011, compared with \$25.65 per share at June 30, 2011. The annualized return on average shareholders' equity in the third quarter was 24.1%. On an operating basis (excluding realized investment losses and the impact of derivative gains/losses on net earnings, and unrealized investment and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 26.8% for the third quarter.

On January 1, 2012, the company will adopt Accounting Standards Update 2010-26 (previously referred to as EITF 09-G), an accounting standard that amends accounting for costs associated with acquiring or renewing insurance contracts (deferred acquisition costs, or DAC). These amended accounting rules are intended to address the diversity in practice regarding which costs qualify as deferred acquisition costs. Based on the December 31, 2010 exchange rate, the retrospective adoption of this accounting standard will result in an estimated after-tax cumulative charge to the company's retained earnings of \$500 million to \$700 million, or 4.5% to 6.3% of shareholder's equity as of December 31, 2010. The company currently estimates the adoption of this accounting standard will result in an immaterial decrease in net income in 2011 and 2012 and for all preceding years impacted by the retrospective adoption. This accounting standard is not applicable to the company's statutory reporting, nor will it impact the company's risk-based capital or holding company liquidity position.

## **AFLAC JAPAN**

Aflac Japan's total revenues in yen were up 4.8% in the third quarter of 2011. Premium income in yen rose 5.4%, and net investment income increased .9%. Investment income growth in yen terms was suppressed by the stronger yen/dollar exchange rate because approximately 34% of Aflac Japan's third quarter investment income was dollar-denominated. The pretax operating profit margin remained relatively unchanged from the third quarter of 2010 at 21.7%, and pretax operating earnings in yen increased 7.5%. For the first nine months of the year, premium income in yen increased 5.1%, and net investment income declined 1.6%. Total revenues in yen were up 4.1%, and pretax operating earnings grew 6.5%.

The average yen/dollar exchange rate in the third quarter of 2011 was 77.78, or 10.2% stronger than the average rate of 85.74 in the third quarter of 2010. For the first nine months, the average exchange rate was 80.48, or 11.0% stronger than the rate of 89.33 a year ago. Aflac Japan's growth rates in dollar terms for both the third quarter and first nine months were magnified as a result of the stronger average yen/dollar exchange rates.

Reflecting the stronger yen, premium income in dollars rose 16.3% to \$4.0 billion in the third quarter. Net investment income was up 11.3% to \$695 million. Total revenues increased 15.5% to \$4.7 billion. Pretax operating earnings rose 18.5% to \$1.0 billion. For the first nine months, premium income was \$11.5 billion, or 16.7% higher than a year ago. Net investment income rose 9.4% to \$2.0 billion. Total

revenues were up 15.5% to \$13.5 billion. Pretax operating earnings were \$2.9 billion, or 18.2% higher than a year ago.

Aflac Japan again produced better-than-expected sales results. New annualized premium sales rose 22.2% to ¥42.3 billion in the third quarter of 2011. In dollar terms, new annualized premium sales were \$544 million. Bank channel sales were again very strong, generating ¥14.5 billion in sales in the third quarter, which is an increase of 146.6% over the third quarter of 2010. Sales of WAYS, the unique hybrid whole-life product, increased 362.8% over the third quarter of 2010. As expected, the intense focus on WAYS, which is particularly popular through the bank channel, impacted child endowment sales, which were down 8.0% for the quarter. Following the March 2011 introduction of the new base cancer policy DAYS, cancer sales increased 8.5% over the third quarter of 2010.

For the first nine months of the year, new annualized premium sales were up 13.9% to ¥112.5 billion, or \$1.4 billion.

## **AFLAC U.S.**

Aflac U.S. total revenues rose 4.0% to \$1.3 billion in the third quarter. Premium income increased 3.7% to \$1.2 billion, and net investment income was up 7.1% to \$147 million. Pretax operating earnings were \$220 million, a decrease of 3.8%. For the first nine months, total revenues were up 3.7% to \$4.0 billion and premium income rose 3.2% to \$3.5 billion. Net investment income increased 8.5% to \$439 million. Pretax operating earnings were \$719 million, or 2.7% higher than a year ago.

Aflac U.S. sales performed well for the third consecutive quarter as targeted product and field force recruiting initiatives continued to take hold. In the third quarter, new sales increased 5.0% to \$340 million. Field force recruiting benefited from targeted national advertising campaigns, generating a 10.4% increase in recruits for the third quarter and 11.4% for the nine months. For the nine months, total new sales increased 5.7% to \$1.0 billion.

## **DIVIDEND**

The board of directors declared the fourth quarter cash dividend. The fourth quarter dividend of \$.33 per share is payable on December 1, 2011, to shareholders of record at the close of business on November 16, 2011. This represents a 10.0% increase in the quarterly cash dividend effective with the fourth quarter payment.

## **OUTLOOK**

Commenting on the company's third quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "We are pleased with our overall results in the third quarter of 2011. Aflac Japan sales greatly exceeded our expectations, largely because of our ability to develop relevant products such as WAYS that appeal to banks and Japanese consumers alike. We are proud of Aflac Japan's remarkable results, especially following two years of exceptional sales growth and the challenges in 2011 resulting from the most devastating natural disaster in Japan's history. Our outstanding sales results in 2011 will create difficult comparisons in 2012.

"We were also pleased that Aflac U.S. continued to generate strong sales results, despite the continued weakness in the U.S. economy. Strategic coordination between our sales and marketing areas, which are more closely aligned than ever, continues to benefit our sales results. On the product side, sales have benefited significantly from the addition of group products to our Aflac U.S. product portfolio and strategic, coordinated sales and marketing efforts. On the distribution side, Aflac U.S. has continued to generate significant recruiting gains, which we believe benefited from targeted advertising activities that promote the Aflac sales opportunity. As a result of our positive performance in both Japan and the U.S., we posted strong consolidated financial results.

"As we have communicated over the past several years, maintaining a strong risk-based capital, or RBC ratio, remains a top priority for us. Although we have not yet completed our statutory financial statements for the third quarter, we estimate our RBC ratio will be within the range of 500% and 540% at the end of

September. Our strong capital position has enabled us to increase our cash dividend for the 29<sup>th</sup> consecutive year. I am very pleased with the action by the board of directors to increase the quarterly dividend by 10.0%, effective with the fourth quarter of 2011. Our objective is to grow the dividend at a rate that's in line with or somewhat better than earnings-per-share growth.

"With three quarters of the year complete, we continue to believe we are positioned for another year of solid financial performance. Throughout the year, both Aflac Japan and Aflac U.S. have continued to do a very good job managing our operations, including expense control. As we have stated previously, our expectation was to increase spending in the last half of the year, particularly on marketing and IT initiatives in the fourth quarter. Despite our expectation for higher spending in the fourth quarter, I am confident we will achieve our 2011 objective of growing operating earnings per diluted share at 8%, excluding the impact of the yen. If the yen averages 75 to 80 to the dollar for the last three months of the year, we would expect reported operating earnings for the fourth quarter to be in the range of \$1.45 to \$1.52 per diluted share. Under that exchange rate assumption, we would expect full year operating earnings of \$6.30 to \$6.37 per diluted share.

"Looking ahead, I want to reiterate our expectation that 2012 operating earnings per diluted share will increase 2% to 5% on a currency neutral basis. Furthermore, once the effects of our proactive investment derisking program and low interest rates have been integrated into our financial results, we believe the rate of earnings growth in future years should improve."

#### **ABOUT AFLAC**

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For more than 55 years, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the number one provider of guaranteed-renewable insurance. In Japan, Aflac is the number one life insurance company in terms of individual policies in force. Aflac insurance products provide protection to more than 50 million people worldwide. For five consecutive years, Aflac has been recognized by *Ethisphere* magazine as one of the World's Most Ethical Companies and by *Forbes* magazine as one of America's Best-Managed Companies in the Insurance category. In 2011, *Fortune* magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the thirteenth consecutive year. Also, *Fortune* magazine included Aflac on its list of Most Admired Companies for the tenth time in 2011. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac, visit [aflac.com](http://aflac.com) or [aflacenespanol.com](http://aflacenespanol.com).

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the third quarter of 2011 can be found on the "Investors" page at [aflac.com](http://aflac.com), as well as a complete listing of Aflac's investment holdings in the financial sector along with separate listings of the company's sovereign and financial investments in both perpetual and peripheral Eurozone securities.

Aflac Incorporated will webcast its third quarter conference call via the "Investors" page of [aflac.com](http://aflac.com) at 9:00 a.m. (EDT) on Thursday, October 27, 2011.

**AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT**

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

<b>THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,</b>	<b><u>2011</u></b>	<b><u>2010</u></b>	<b><u>% Change</u></b>
Total revenues	\$ 5,987	\$ 5,394	11.0%
Benefits and claims	3,517	3,102	13.4
Total acquisition and operating expenses	1,365	1,237	10.3
Earnings before income taxes	1,105	1,055	4.8
Income taxes	361	365	
Net earnings	\$ 744	\$ 690	7.9%
Net earnings per share – basic	\$ 1.60	\$ 1.47	8.8%
Net earnings per share – diluted	1.59	1.46	8.9
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	465,910	469,868	(.8)%
Diluted	467,793	473,569	(1.2)
Dividends paid per share	\$ .30	\$ .28	7.1%

**AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT**

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

<b>NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,</b>	<b><u>2011</u></b>	<b><u>2010</u></b>	<b><u>% Change</u></b>
Total revenues	\$ 16,192	\$ 15,438	4.9%
Benefits and claims	10,049	8,843	13.6
Total acquisition and operating expenses	3,985	3,677	8.4
Earnings before income taxes	2,158	2,918	(26.0)
Income taxes	740	1,011	
Net earnings	\$ 1,418	\$ 1,907	(25.6)%
Net earnings per share – basic	\$ 3.04	\$ 4.07	(25.3)%
Net earnings per share – diluted	3.02	4.03	(25.1)
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	466,843	468,880	(.4)%
Diluted	469,919	472,859	(.6)
Dividends paid per share	\$ .90	\$ .84	7.1%

**AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET****(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)**

<b>SEPTEMBER 30,</b>	<b><u>2011</u></b>	<b><u>2010</u></b>	<b><u>% Change</u></b>
Assets:			
Total investments and cash	\$100,808	\$ 85,585	17.8%
Deferred policy acquisition costs	10,575	9,418	12.3
Other assets	3,337	2,840	17.5
Total assets	\$114,720	\$ 97,843	17.2%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 92,992	\$ 78,913	17.8%
Notes payable	3,301	3,008	9.7
Other liabilities	5,713	4,789	19.3
Shareholders' equity	12,714	11,133	14.2
Total liabilities and shareholders' equity	\$114,720	\$ 97,843	17.2%
Shares outstanding at end of period (000)	466,639	471,044	(.9)%

**RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS**

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

<b>THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,</b>	<b><u>2011</u></b>	<b><u>2010</u></b>	<b><u>% Change</u></b>
Operating earnings	\$ 778	\$ 684	13.7%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	112	(3)	
Impact of derivative and hedging activities	(146)	9	
Net earnings	\$ 744	\$ 690	7.9%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.66	\$ 1.45	14.5%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.24	(.01)	
Impact of derivative and hedging activities	(.31)	.02	
Net earnings per diluted share	\$ 1.59	\$ 1.46	8.9%

**RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS**

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

<b>NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,</b>	<b><u>2011</u></b>	<b><u>2010</u></b>	<b><u>% Change</u></b>
Operating earnings	\$ 2,282	\$ 1,990	14.7%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(682)	(37)	
Impact of derivative and hedging activities	(182)	(46)	
Net earnings	\$ 1,418	\$ 1,907	(25.6)%
Operating earnings per diluted share	\$ 4.86	\$ 4.21	15.4%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(1.45)	(.08)	
Impact of derivative and hedging activities	(.39)	(.10)	
Net earnings per diluted share	\$ 3.02	\$ 4.03	(25.1)%



**EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS<sup>1</sup>**  
 (SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

<b>THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2011</b>	<b><u>Including Currency Changes</u></b>	<b><u>Excluding Currency Changes<sup>2</sup></u></b>
Premium income	13.1%	5.1%
Net investment income	10.1	4.6
Total benefits and expenses	12.5	4.7
Operating earnings	13.7	7.2
Operating earnings per diluted share	14.5	8.3

<sup>1</sup> The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

<sup>2</sup> Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

**EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS<sup>1</sup>**  
 (SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

<b>NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2011</b>	<b><u>Including Currency Changes</u></b>	<b><u>Excluding Currency Changes<sup>2</sup></u></b>
Premium income	13.2%	4.7%
Net investment income	9.2	3.3
Total benefits and expenses	12.1	3.9
Operating earnings	14.7	7.4
Operating earnings per diluted share	15.4	8.1

<sup>1</sup> The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

<sup>2</sup> Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

## **2011 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS**

<b><u>Average Exchange Rate</u></b>	<b><u>Annual Operating EPS</u></b>	<b><u>% Growth Over 2010</u></b>	<b><u>Yen Impact</u></b>
75	\$ 6.61	19.5%	\$ .64
80	6.34	14.6	.37
85	6.09	10.1	.12
87.69*	5.97	8.0	–
90	5.87	6.1	(.10)
95	5.68	2.7	(.29)

\*Actual 2010 weighted-average exchange rate

### **FORWARD-LOOKING INFORMATION**

*The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).*

*Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy generally; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and downgrades in certain securities in our investment portfolio; impairment of financial institutions; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; differing judgments applied to investment valuations; subjective determinations of amount of impairments taken on our investments; realization of unrealized losses; limited availability of acceptable yen-denominated investments; concentration of our investments in any particular sector or issuer; concentration of business in Japan; ongoing changes in our industry; exposure to significant financial and capital markets risk; fluctuations in foreign currency exchange rates; significant changes in investment yield rates; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to the Parent Company; changes in law or regulation by governmental authorities; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; decreases in our financial strength or debt ratings; level and outcome of litigation; ability to effectively manage key executive succession; catastrophic events including, but not necessarily limited to, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, and radiological disasters; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.*

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667, FAX: 706.324.6330, or [rwilkey@aflac.com](mailto:rwilkey@aflac.com)

Media contact – Laura Kane, 706.596.3493, FAX: 706.320.2288, or [lkane@aflac.com](mailto:lkane@aflac.com)